

RMP

# デュロキセチンカプセル「オールラ」

## 慢性腰痛症に伴う疼痛 変形性関節症に伴う疼痛 服薬指導箋



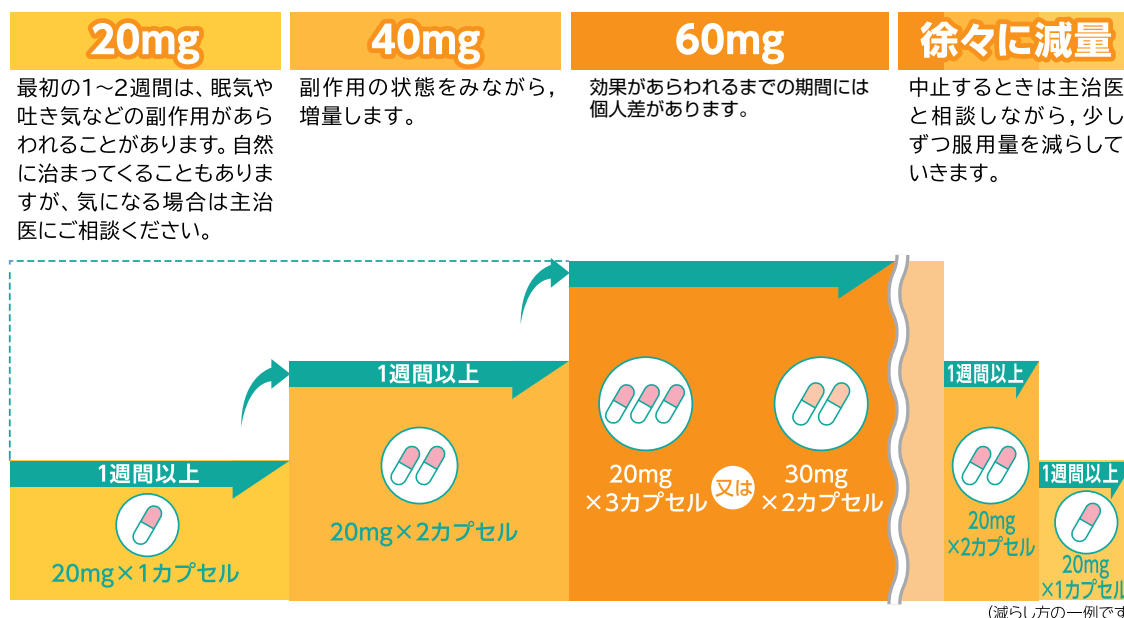
大原薬品工業株式会社

# 「慢性腰痛症に伴う疼痛」及び「変形性関節症に伴う疼痛」でデュロキセチンカプセル「オーハラ」を服用される患者さんにご家族の方へ

デュロキセチンカプセル「オーハラ」は、通常1日1回朝食後、60mgを服用しますが、最初は1日1回20mgから始め、症状や患者さんの状態を観察していきます。その後、1週間以上の間隔を空けて20mgずつ増量し、最終的に60mgまで増量します。

## 初期用量

## 通常治療用量



- このお薬は市販の痛み止め薬などとは違い、ご自身の判断で服用量を変更したり、急に服用を中止したりすると、吐き気や頭痛など、副作用に似た症状があらわれることがあります。症状を改善し、良い状態を保つためには、決められた量のお薬を継続して服用することが大切です。

このお薬は2種類あります。



気になる症状やわからないことがある場合は、主治医にご相談ください。

大原薬品工業株式会社

電話 0120-419-363 (お客様相談室)

- デュロキセチンカプセル「オーハラ」は、慢性腰痛症に伴う痛み並びに変形性関節症に伴う痛みを軽減するお薬です。うつ病にも使用されますが、その効果とは別に、これらの疾患に伴う痛みに対する効果を示します。

デュロキセチンカプセル「オーハラ」は、慢性腰痛症に伴う痛み並びに変形性関節症に伴う痛みを和らげます。

このお薬は、神経に働きかけ、痛みを抑える作用を持つセロトニンとノルアドレナリンの量の調節に関わることにより、痛みを和らげると考えられています。

- 毎日服用することで効果を発揮します。

このお薬は痛みがあるときだけ服用するお薬ではありません。継続して服用することにより、痛みを和らげる効果があらわれます。効果があらわれるまでの期間には個人差があるので、主治医の指示に従い、きちんと服用しましょう。

- 眠気や吐き気などを出にくくするために、服用は少量の20mgから開始します。

少量から服用を開始しても、飲み始めの時期に眠気や吐き気などの副作用があらわれることがあります。このような症状は、1～2週間で自然に治まってくることもあります。気になる症状がある場合は、ご自身の判断で薬の服用を中止せずに、まず主治医にご相談ください。

## 患者さんご家族の方へ

うつ病など、精神科の病気で治療されている場合は、精神科の病気の症状に影響を与える可能性がありますので、服用前に主治医にお伝えください。

### ●患者さんへ

- ・飲み始めや飲む量が変わったときに、イライラして落ち着かなくなったり、生きるのがつらいと感じたり、消えてしまいたいという気持ちになったり、場合によっては死にたいという気持ちになったりすることが、患者さんによってまれにあらわれることがあります。
- ・不安になる、あせる、興奮しやすい、攻撃的になるなどの症状があらわれることがあります。
- ・このような症状がある場合、主治医と相談の上、必要に応じて精神科／心療内科の受診をご検討ください。

### ●ご家族の方へ

- ・患者さんのこれらの症状に気づかれた場合、患者さんご本人かご家族の方から早めに主治医にご連絡ください。

医療機関名

DXKC-A-25A

2021年6月作成

RMP



DXKC-A-25A  
2021年6月作成